

ぎかいの話題

市民の皆さんの意見・要望を市長に提出し 回答を依頼しました

各校区の地域コミュニティ組織役員等との意見交換会（議会報告会）を行いました。

大牟田市議会では、毎年夏に、地域に出向いて議会活動を報告し、市民の皆さんからの意見などを聞きする議会報告会を行ってきました。しかし今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながらの開催方法について話し合いを重ねた結果、各校区の地域コミュニティ組織役員等（各校区3名以内）との意見交換会という形で実施することにしました。

10月下旬に開催し市内6会場にて合計56名に参加いただきました。ありがとうございました。

当日は、次の3つをテーマに市行政や議会に対する様々な意見・要望をお聞きしました。

1. 令和2年7月豪雨災害に関するもの
2. 新型コロナウイルス感染症対策に関するもの
3. その他地域課題に関するもの

いただいた意見・要望については、集約・分類する中で、合意形成が図られた以下の3項目について昨年11月、議会の総意として市長に提出し、回答を依頼しました。



（10月27日開催 市役所北別館）

市長に要望し回答を求めているもの

1. 避難所に関すること

- 地震・台風・水害など災害の種類に応じた避難所の再配置を検討してほしい。
- 高齢者などが使いやすいよう多目的トイレを設置してほしい。
- 女性職員の配置を増やすなどして、女性に配慮した避難所の運営にしてほしい。
- 食料・生活用品・段ボールベッドなどが足りなかったため、避難所の規模に応じて備蓄品の数量を確保してほしい。

2. 避難対策に関すること

- 今回の災害を教訓とした避難訓練を実施してほしい。
- 独居者・高齢者・障害者・乳幼児・児童など、要配慮者ごとに避難対策を再検討してほしい。
- 災害発生に備える情報や、災害発生後の情報をどう発信するか、検討してほしい。（例えば、避難所の混雑状況や通行可能な道路の情報提供、災害発生後の支援制度の周知など）。

3. 浸水対策に関すること

- 河川、調整池、水路、ため池、水門、ポンプ場など、浸水対策に必要な改修・改善を早急に行ってほしい。
- ため池、ポンプ施設や水門などの適正な管理・運営を図ってほしい。

そのほか、意見・要望が多数あり、議員間で共有し、市行政に関するものは市当局にも伝えました。その一部をご紹介します。

- 地域コミュニティ組織への加入率が下がっている。防犯灯の管理・運営も難しくなっている。コロナ禍での行事等の中止で、公民館等の脱退が増えることを危惧している。これらを行政も一緒に考えてほしい。
- 新型コロナウイルスの感染を疑うときに、どこに問い合わせればよいか、市民への周知を徹底してほしい。また、発症した方の校区や回復状況などが公表できないのか。
- その他として、交通、道路整備、空き家対策、リサイクルなど。

多岐にわたりいただいたご意見は、大牟田市議会ホームページに掲載しています。